

事業計画

I. 基本方針

我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、GDPが一時リーマンショック時を超える落ち込みを記録するなど深刻な影響を受け、その後、持ち直しの動きはあったものの、第2波・第3波と感染が拡大する中、回復への足取りも重く不透明な状況が続いている。中小企業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により経済が急激に減速する中、生産性の向上に向けたデジタル化の遅れが浮き彫りとなり、加えて深刻化している人手不足や賃金上昇、経営者の高齢化問題など、依然として多くの課題も残されている。

当地域においても、新型コロナウイルス感染症による影響は深刻であり、中小・小規模事業者の事業継続・雇用の維持は喫緊の課題である。更に、「福山駅前を中心とする中心市街地の再生・活性化」、「幹線道路網や港湾の整備促進」、「産業・流通団地の整備促進」、「コンベンション機能の強化・推進」等、福山市が備後の中核都市として持続的発展を遂げていくために欠かせない事項も山積している。

こうした中「中小企業の活力強化」、「地域の活性化」という二つの使命・役割を担う福山商工会議所においては、

- SDGs 17の目標を見据えた事業や活動の展開
- 創立100周年に向けた持続可能な福山CCIの構築
- 新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立環境の整備

を基本方針に位置付け、この基本方針を踏まえたつぎの事項を令和3年度主要事業・活動として位置付けるものである。

- I 地域活性化の観点や会員との対話を踏まえた政策提言・要望
- II コロナ禍への対応支援の強化
- III デジタル化を通じた生産性向上に向けた支援の強化
- IV コロナ禍に対応した中心市街地の再生・活性化に資する活動の展開
- V 地域資源を活用した地方創生に資する取り組みの促進
- VI スマートCCIの構築に向けた調査・研究

これらの取り組みに当たっては、産・学・官及び他地域との有機的な連携、会員の生の声、会員に寄り添った相談・情報提供、部会・委員会の活性化などに留意しながら、当事業計画の着実な推進に努め、「信頼される商工会議所」、「なくてはならない商工会議所」の実現をめざしていく。

Ⅱ．事業内容

1．地域振興のための意見・政策提言活動の展開

当地域中小企業の経営基盤の強化と地域の活性化を目指し、会員の声を集約するとともに、行政や関係諸団体との緊密なネットワークを活用しつつ、意見・政策提言活動を行う。

(1) 意見・政策提言活動

①経済行政懇談会を開催し、福山市・福山市議会・当所が地域の諸課題解決に向けての意見交換や地域活性化に係る提言・要望を行う。

○経済行政懇談会の開催【重点】

②正副会頭と部会との懇談会の実施や、正副部長・委員長との緊密な連携による活動の展開により、会議所活動の活性化や提言・要望活動につなげていく。

○部会・委員会の開催【重点】

③景気対策、中小・小規模企業施策、税制改正などの諸施策について、日本商工会議所をはじめとする関係団体と連携し、国・県・市等に要望活動を行う。

○景気対策、中小企業・小規模事業者対策支援（金融・税制・雇用・規制改革等）に対する建議及び要望

(2) 他会議所等との連携

日本商工会議所・中国地方商工会議所連合会・広島県商工会議所連合会、備後地域商工会議所会頭会議との連携を通じて、地域諸課題の克服に向けた合意形成を図るとともに、備後地域8会議所共同で、新商品・新技術等の開発や独創性、市場性などがある新事業に取り組む会員企業を表彰するため、第2回備後地域商工会議所新事業表彰事業（新事業アワード2021）を実施する。

○第2回備後地域商工会議所新事業表彰事業の実施【重点】

○広島県商工会議所連合会を通じた小規模企業対策予算の確保等に係る要望の実施

2. 中小・小規模企業の成長と経営力の強化

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染拡大を抑えながら経済活動を押し進めていくために、国等の各種支援策を有効に活用できるよう、オンライン相談体制の整備などを行うとともに、地域の産業活動を支え、雇用の維持・創出にも重要な役割を果たしている中小・小規模企業の持続的発展に向けて、ワンストップ機能を活かしたサービスの充実を図り、事業者に寄り添った支援を展開する。

また、この昨年来の新型コロナウイルスによるパンデミックが「売り手市場」を一変させたものの、依然として生産年齢人口の減少が続く中、雇用状況の変化を見極めながら地域産業の人材確保を支援するとともに、ビジネス実務に直結する知識やスキルを重視し、企業が必要とする人材の育成を促進する。

さらに、福山市と共同で策定した事業継続力強化支援計画に基づき管内の事業者への災害対策の普及啓発や「事業者BCP」の策定支援などに取り組む。

(1) 経営支援

①新型コロナウイルス感染症で影響を受ける中小・小規模企業に対し、関係機関と連携し、地域経済の動向に注視し情報収集を行うとともに、融資や補助金・助成金など国等の各種支援対策の活用など経営相談に応じ継続した支援を行う。

また、当所が行政に要望し策定された「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン～職場編～」のeラーニング受講の周知・勧奨や、コロナ禍対策支援策などについて会報誌「商工ふくやま」、ホームページなどあらゆる広報媒体を駆使し情報提供を行うことで、事業所の「雇用維持」「事業継続」を支援する。さらには、コロナ感染対策にしっかり取り組む店（セーフティ・ショップ）を当所ホームページで紹介することに加え、チラシを作成し新聞へ折込広告を行うことで、広く市民等に発信し、事業所の経営環境の改善に寄与する。

○オンライン経営相談の開設等コロナ禍対応のための経営相談体制の強化【新規】

○「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン～職場編～」のeラーニング受講の周知・勧奨【重点】

○セーフティ・ショップ応援事業の推進【新規】

②「小規模事業者支援法」の改正を受けて、小規模事業者を地域ぐるみで支援するために策定した「経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の経営力強化に向けた伴走型支援や、面的支援の一環としての地域活性化に向けた様々な事業に取り組んでいく。

○経営発達支援計画に基づく「伴走型支援」等の推進【重点】

- ③地域を持続的に発展させ、新市場の創出を図るため、創業機運を醸成して創業者を増やすため、創業塾を始めとした創業計画策定支援を行い、課題の抽出と克服を支援し創業の促進をはかる。また創業フォローアップセミナーの開催など、創業後のフォローアップにも取り組み、経営を継続して行えるよう伴走型支援を行う。

○創業支援事業の推進【重点】

- ④小規模事業者向けのIT専門家の配置による定例的な情報化相談日の開設や情報化活用事例の周知、セミナーの開催により、小規模事業者のデジタル化支援に取り組んでいく。

○小規模事業者の特化した情報化支援事業の推進【新規】

- ⑤販路拡大、財務改善、事業承継、デジタル化、人手不足への対応など中小企業・小規模事業者の経営課題はより個別化し、課題解決に対するニーズは多様化している。専門家の活用、産業支援機関との連携強化により、重層的かつ複合的な支援を展開し事業者が直面する課題の解決を全力で支援する。

○福山地域中小企業支援センターの運営【重点】

○福山市産業支援者連絡会議を活用した関係機関との連携強化【重点】

- ⑥福山市と共同で策定した事業継続力強化支援計画に基づき、大規模自然災害やウイルス対策に備える事業者に対し、リスクの認識、事業者BCPの策定、災害時の被害確認・報告体制の整備など総合的な支援を行う。

○事業継続力強化支援事業の推進【新規】

(2) 金融事業

売上・収益や財務体質の改善に取り組む小規模事業者を対象として、円滑な資金繰り支援を実施する。

○小規模事業者経営改善資金（マル経資金）の利活用の促進【重点】

- 各種制度融資の普及と利用促進

(3) 雇用労働対策の推進

- ①(公財)産業雇用安定センターとの雇用対策協定に基づき、コロナ等の影響により雇用環境が大きく変動している中、会員事業所の雇用の維持や人材確保を支援す

るため、「雇用シェアマッチング」事業を実施する。

○雇用シェア促進事業の推進【重点】

○生涯現役促進地域連携事業への参画

②企業と学生が学食で気軽に交流する「モグジョブ」に取り組み、大学生の地元就職を促進する。また、高校生が一旦県外の大学へ進学しても、卒業後は地元企業へ就職することを意識づけるために、㈱マイナビ、福山市と共催し、高校生向け学習サイト「ローカス」のフィールドスタディプログラム（会社見学・職場体験）の周知を図る。

○企業と学生の交流事業の推進【重点】

○職場定着促進事業の推進【重点】

○広島県産業教育振興会福山支部の運営支援

○福山産業教育振興会の運営

③コロナ禍により地元企業の採用活動が制限される中、企業の採用情報を広く発信することを目的として、「エフエムふくやま」の番組「就活応援ラジオ～今こそ地元で働こう！～」の放送や当所フェイスブック等の活用を図っていく。

○就活応援ラジオの実施【新規】

④福山市と連携しながら大学生対象の企業研究会や就職ガイダンス、U I ターン合同企業説明会等を開催し、中小・小規模企業の人手不足解消の一助とする。また、東京商工会議所主催「会員企業と学校法人との就職情報交換会」に参画し、会員企業の新卒採用を後押しする。

○若年者就労支援事業の推進【重点】

○Uターン人材情報収集・提供事業の推進

○福山地方雇用対策協議会及び福山地方Uターン就職協議会への参画

○大学生・中高生インターンシップへの支援

⑤「地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材の育成」を目的とした協議会に参画し、産・学・官が一体となって、海外留学と地元企業のインターンシップを組み合わせたプログラムを実施する。

○福山市グローバル人材育成事業推進協議会の運営支援

⑥コロナ禍の影響や少子高齢化、家庭や地域を取り巻く環境変化等を鑑み、労働条件を時代に即したものに整備するため、人材の多様性や柔軟な働き方への理解を

深めるセミナー等を実施する。

○多様な人材確保支援事業の推進【重点】

- 女性活躍推進法・男女雇用機会均等法の啓発・普及
- 障害者雇用促進に向けた普及活動
- 男女共同参画社会の実現のための啓発・普及（福山市男女共同参画センターへの協力）
- 次世代育成支援対策推進法、育児・介護休業法等の啓発・普及

⑦コロナ禍での中小・小規模企業の人材採用力の向上や若手・中堅社員のスキル向上、働き方改革関連法に伴い必要とされる労務管理対策の各種セミナーを開催する。また、個別の課題については、福山地域中小企業支援センターに専門家の相談窓口を設け、課題解決を支援する。

- 働き方改革など人事労務に関するセミナーの開催
- 新入社員研修、若手社員研修、管理者研修の開催
- ワークライフバランス実現に向けた取り組み支援
- 雇用関係各種助成金制度の啓発・普及
- 労働契約法等の労働関係法令の啓発・普及
- 福山産業教育振興会の運営【再掲】

⑧企業の生産性向上や人材確保に寄与することが期待できる健康経営の周知・普及を目的として、アクサ生命等と連携しながら「健康経営優良法人」認定申請のサポートやセミナーの開催に取り組んでいく。

○健康経営普及促進事業の実施【重点】

- ・健康経営の推進に向けたセミナーの開催
- ・健康経営優良法人認定申請サポート
- ・生活習慣病予防健診の実施
- ・健康診断サービス（通年型）の実施
- ・PET-CTがん検診の会員特別割引サービスの実施

（４）商工技術の振興

各種検定試験の施行を通じ、企業の人材育成を支援する。企業会計を理解するうえで有効な資格である日商簿記について、関係機関への普及・拡大の取り組みを強化していく。また、ポストコロナ・ウイズコロナの両面からも、中小企業のデジタル化の推進に向けた、IT人材の育成とネット社会におけるビジネス実務能力を有する人材を育成するため、ネット試験等を積極的に推進する。

○コロナ禍に対応した各種検定試験の推進【重点】

- ・簿記検定試験への大学等での出前試験方式の実施
- ・ビジネス実務法務検定試験等6検定のweb化への移行
- 検定による人材育成支援事業（簿記検定試験対策講座等）の実施
- 福山珠算連盟の運営及び珠算能力検定試験の普及・促進

（５）調査事業

事業者への有益かつ適切な情報提供の観点から、景気観測調査や広島県内のモデル退職金調査等各種調査を実施する。

- 広島県・福山市の景気観測調査の実施
- 商工会議所早期景気観測（CCI LOBO）調査の実施
- 新入社員アンケートの実施
- 広島県内のモデル退職金調査の実施
- 各種統計データの収集・公表

3. 産業の発展と潜在力の強化

備後圏域の中核都市としてふさわしい高次都市機能の集積や社会資本の整備、情報インフラの確立、アメニティ機能の強化・充実に向けて、関係機関と緊密な連携を図りながら、多様な活動を推進していく。

また、当地域の特色であるものづくり産業の持続的発展に向けて、ビジネスマッチング事業や知的財産支援事業等、各種事業を積極的に展開していく。さらに、魅力ある中心市街地の形成に向けて、中心市街地活性化推進事業を推進していく。

（１）活気とにぎわいのある都市空間づくりの推進

福山駅前のにぎわい創出、回遊性向上に向け、コロナ禍の中でも「新しい日常下での賑わいづくりイベント」として、感染防止対策を徹底し歩道空間を活用した

「OPEN STREET FUKUYAMA」を引き続き実施するとともに、当該エリアの価値向上に向けたエリアマネジメントの検討に取り組んでいく。

○福山駅前等歩道空間活用イベント

「OPEN STREET FUKUYAMA」の実施【重点】

- 中心市街地まちづくり・エリアマネジメント勉強会への支援
- リノベーションまちづくりの支援

（２）交通体系の整備促進

福山道路の早期整備を推進することを目的に設立された「福山道路整備促進期成

同盟会」活動への積極的な参画を通じて、提言活動の強化を図っていく。

○「福山道路整備促進期成同盟会」活動への参画【重点】

○広島空港の利用促進と広島県空港振興協議会への参画

○井原鉄道の利用促進支援

(3) 港湾の振興

関係機関や港湾利用者との連携を密にしながら、重要港湾福山港や松永港の機能強化、並びにクルーズ振興に向けた活動を積極的に展開していく。

○福山港並びに尾道糸崎港（松永港）の機能の充実・強化に向けた要望活動並びに福山港利用促進セミナーの開催【重点】

○広島県東部港湾振興協会並びに福山港部会・松永港部会の運営

○新規航路の開拓・誘致促進

○国内外における荷主発掘並びにポートセールス活動の推進

○クルーズ客船誘致の推進

(4) 工業の振興

①新しくオンリーワン・ナンバーワン企業の新規募集を行うなど当地域に数多く存在するきらりと光る「ものづくり企業」の調査・発掘に取り組むとともに、それらの企業の情報発信や企業見学会の開催等を通じて、「ものづくり企業」の認知度向上に繋げていく。

○ものづくり企業認知度向上事業の実施【重点】

②ビジネス交流フェアなど、ビジネスマッチング事業の実施、電子産業関連企業交流グループへの参画などを行い、ものづくり産業の発展を支援する。

○ビジネス交流フェアの開催【重点】

○ビジネスネットワーク推進事業の実施

○広島県下請取引連携商談会への参画

○電子産業関連企業交流グループへの参画

○ひろしま産業振興機構や広島県立総合技術研究所東部工業技術センター等産業振興機関との連携の強化

○各種技術コンクールの実施及び協力

○各種見本市、展示会、物産展の開催と支援及び出品斡旋

(5) 商業の振興

福山市と連携し、「福山駅周辺地区中心市街地の活性化に関する基本方針」及び

「福山駅前再生ビジョン」に示されたエリアのまちづくり推進に向けて、駅前大型商業施設や商店街関係者、地権者、地域住民等と一体となり、福山市の顔である中心市街地の賑わいとエリアの価値向上に向け、福山市中心市街地活性化推進事業に取り組む。

○まちなかエリア魅力向上推進事業の実施【重点】

エリアマネジメント推進（勉強会の開催、先進地視察等）、リノベーションまちづくり等福山駅周辺活性化に向けたまちづくりの推進（商店街活性化・環境整備等まちづくり支援、中心市街地ネットワーク強化連携支援）

○まちなか賑わい創出事業の実施【重点】

歩道空間活用イベント「OPEN STREET FUKUYAMA」の開催【再掲】、まちなかマルシェ、まちゼミ福山の開催、継続的賑わい創出イベントへの支援

○まちなか開業支援事業【重点】

（６）中小企業の海外展開支援

①国際ビジネス研究会等と連携を図り、企業の海外展開を支援する。また、ジェトロ等の各種国際経済団体との連携強化を図り、情報提供、各種セミナー・研修事業を行う。

○国際ビジネス研究会事業との連携強化

○貿易関係商取引及び海外進出企業等の照会、斡旋、協力の実施

○新輸出大国コンソーシアムへの参画と中小企業の海外展開支援

○ジェトロ等との連携強化及び海外ビジネス・貿易相談事業の充実

②非特惠原産地証明・サイン証明・インボイス証明の発給及びEPA（経済連携協定）に基づく特定原産地証明などの貿易関係証明の発給を通して、地域企業の海外取引等の支援を行う。

○特定原産地証明発給に係る日本商工会議所福山事務所の運営

○原産地証明並びに海外取引に関する証明書の発給事務の実施

○RCEP（東アジア地域包括的経済連携）、TPP11の発効に伴う関係機関との連携強化

（７）知財情報相談事業の充実強化

次世代においてコアとなる知的財産権の普及・啓発と取得・蓄積に向けて知的財産支援事業の充実と強化を図っていく。

○知的財産に係る相談機能の強化等【重点】

○広島県中小企業知財支援センター福山サテライト機能の強化

- 特許情報プラットフォームの活用と特許等の出願、登録相談指導
- 広島県発明協会備後支会の管理運営
- 備後地区生徒児童発明くふう展の運営
- 福山少年少女発明クラブの運営
- 備後知財経営研究会の運営

(8) 環境対策の推進

- 容器包装リサイクル法等環境基準強化に関する啓発・PR活動の推進
- 環境にやさしいまち福山実行委員会への参画
- エコでえ〜こと実行委員会への参画
- 広島県環境保全公社への参画
- 環境再生保全機構「公害健康被害補償事業」への協力
- 日本容器包装リサイクル協会「容器包装リサイクル事業」への協力
- エコアクション21認証・取得の支援
- 環境社会検定試験(e c o検定)のPR促進
- 備後のCO₂削減『ベスト運動』の支援

4. 地域資源を活用した都市力の向上

地方創生に係る機関への積極的な参画を通じて、さまざまな関係機関との連携を密にしながら、地域資源を活用した地域の活性化に資する取り組みを推進していく。

また、当地域の賑わい創出やブランド創出につながる文化・スポーツ振興・MICE等の取り組みを推進していく。

(1) 地場産業の振興

- ①「福山をワインの街に！」を目標に産・学・官・民により設立した「備後福山ワイン振興協議会」の活動を核として、これまでに商品化された「ばらの酵母菌」を活用した「備後ワイン」を始めとする備後・福山産ワインのさらなる認知度向上、消費拡大、販路開拓に向けた取り組みを推進していく。また、2025年に当地で開催される「世界バラ会議」に向け、福山大学が研究を進めているバラ科の桜酵母「赤色酵母」を活用した「新たな福山ワイン」の共同研究・開発に取り組んでいくとともに、備後圏域でのワイン振興の機運の醸成に向け、福山近郊のワイナリーを巡る体験型バスツアー等、ワインツーリズムの研究・商品造成を推進していく。

○福山ワイン振興事業の推進【重点】

②後継者不足など多くの課題を抱えている福山琴、松永下駄、鞆保命酒、備後畳表、備後緋の五つの伝統産業について、各組合に対して行ったヒアリング結果を基に、実施可能な業界から順次販路拡大や情報発信等総合的な支援を推進していくなかで、伝統産業の継承、活性化へつなげていく。また、福山琴については、現在、全国的人気の「和楽器バンド」より、“たる募金”による支援を受けた縁を活かし、福山邦楽器製造業協同組合と当所共同による、新たな福山琴「和楽器バンドモデル(仮称)」の開発を行っていく。琴の製作にあたっては、福山城築城400年記念事業とタイアップし、城内に自生していた桐を活用し話題性と知名度向上を図る。

○伝統産業振興事業の推進【重点】

○新たな福山琴開発事業の推進【新規】

- 日本下駄とばし協会の運営支援
- 松永下駄（しゃん下駄）の普及促進
- 備後地域地場産業振興センターへの参画と支援
- 福山物産協会への参画と支援

③当地域の地方創生の取り組みを推進してきた「福山市総合戦略推進懇話会」の議論をもとに、一日も早くコロナ禍を乗り越え、コロナ時代の「新たな日常」を構築し、誰もが未来に「希望」が持てる都市づくりに向け、（仮称）福山みらい創造ビジョンを策定すべく、新たに発足した「福山みらいづくり懇話会」や「びんご圏域活性化戦略会議」に参画することにより、引き続き、建設的な提言・意見を発信していく。

さらには、ポストコロナを見据え、宿泊や飲食、交通など複数の分野での経済波及効果が見込まれるMICEの推進に取り組む。

○福山市MICE推進協議会への参画【重点】

- 福山みらいづくり懇話会への参画
- びんご圏域活性化戦略会議への参画
- 福山市都市ブランド戦略推進協議会への参画

(2) 観光の振興

「鞆の浦」や「福山城」を始めとする歴史的・文化的に価値の高い観光資源やばら祭、夏まつりなどの一大イベント、そして、福山城築城400年や「100万本のばらのまち」など地域の魅力を戦略的に発信するとともに、2025年に福山市で開催される「世界バラ会議」の開催へ向け、実行委員会へ参画し協力支援を行うなど、福山の知名度、イメージの向上を図り、国内外から観光客を誘致する。

- 広域連携による観光振興事業の推進

- 観光資源・産業施設を融合したさまざまな広域観光ルートの調査・研究・作成
- 福山観光コンベンション協会の運営支援
- ふくやま・新幹線活性化協議会への参画
- 観光振興に関する講演会、講習会等の開催
- 観光関連産業の振興と観光客誘致対策の推進
- 福山市みなと事業推進委員会への参画
- 福山ばら祭・夏まつり、観光鯛網、ゲタリンピック事業等への参画と支援
- 広島県観光連盟への参画と支援
- 福山祭委員会の事業活動への参画と支援
- ふくやまフィルム・コミッションへの参画
- 福山城築城400年記念事業実行委員会への参画
- 世界バラ会議福山大会実行委員会への参画

(3) 文化・スポーツの振興

- ①当地域が誇る「鞆の浦」の地域資源を磨き上げるため「鞆の浦 de ART」を実施する。

○鞆の浦 de ARTの実施【重点】

- ②当所青年部が福山城築城400年に向けた機運の醸成を目的として実施する「福山城あかりまつり」と連携しながら、駅前の歩道空間を活用した賑わいづくりイベントを実施する。

○「福山城あかりまつり」と連携した駅前地区賑わいづくりの創出【重点】

- ③その他

- 島田荘司選ばらのまち福山ミステリー文学新人賞への支援
- 福山トライアスロン協会への支援
- 市民文化施設（リーデンローズ）の運営支援
- ふくやま美術館・県立歴史博物館への協力
- 福山赴任者倶楽部の運営
- 松永親交会への参画と支援

5. 組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

2029年の当所創立100周年を見据え、2019年11月からの第23期体制のスローガンとして、「持続可能な商工会議所の構築」を掲げている。一方、2015年

9月に国連総会にて、持続可能な開発目標「SDGs」(Sustainable Development Goals)が採択され、17項目の2030年の達成に向けた目標が設定された。SDGsの「S」の意味するサステナビリティとは、環境・社会・経済という3つの価値をバランスさせて持続可能性を追求することである。

17項目には、環境にやさしい安心・安全なまちづくり、金融支援、教育と職業訓練、女性活躍推進社会、障がい者・外国人雇用、健康経営、脱炭素などの環境経営、インフラ整備、産業イノベーションなど、商工会議所が取り組む事業に密接に関連する目標が多く含まれており、親和性が高い。よって、地域総合経済団体としてSDGsに掲げる理念をたえず念頭に置きながら各種事業を企画・実施するとともに、これら事業を強力に推進し、地域の発展に資するためにも、足元である当所組織運営体制の強化を図らなければならない。

そうした観点からも、コロナ禍において、苦境にあえぐ中小・小規模事業者への伴走型支援を行うことで、会員入会メリットを感じてもらえるよう会員増強運動を積極的に推進し、会員組織の拡大を図っていく。

また、財政基盤の充実・強化に向けて、各種共済・保険事業の積極的推進、当所ビルテナント入居並びに貸会議室の利用促進を図っていく。

さらに、組織機能の強化を図るため、女性会、青年部活動を積極的に支援していく。

会員満足度の向上に向けて、既存の会員サービス事業を検証する中で、事業内容の向上を図っていくとともに、福利厚生サービスの充実と積極的な推進に努めていく。

(1) 組織の充実

①ウイズコロナにおけるテレワーク、オンライン会議など非接触型の業務推進が叫ばれる中、当所においても事務局業務のデジタル化(ペーパーレス化、クラウド導入など)に向けた調査・研究を推進し、「スマートCCI」の構築を図る。

○スマートCCIの構築に向けた調査・研究【新規】

②会議所の活動や事業、広報を通じて、引き続き、会員増強運動を積極的に展開していく。

○コロナ禍における事業所への経営支援と連動した会員増強運動の推進【重点】

○特定商工業者に対する商工会議所会員への加入促進

③財政基盤強化の観点から、当所ビルへのテナント入居促進や貸会議室の利用促進を図っていくとともに、当所ビルのあり方について引き続き検討を行っていく。

さらには、福山市西部市民センター内へ松永支所を移設することにより、行政と連携した経営・税金・雇用等の各種相談体制の充実化、利便性を高めるワンスト

ップ化を図る。

○商工会議所ビルのあり方に関する調査・研究【重点】

○松永支所移設による支所機能の強化【重点】

④会員および特定商工業者の正確な把握とデータ管理及び活用により、当地の経済振興に役立てる。

○会員台帳並びに特定商工業者法定台帳の作成・管理及び運営

⑤その他

○部会・委員会の開催【重点・再掲】

○正副会頭会議、常議員会、議員総会、議員全員協議会の開催

(2) 福山商工会議所女性会活動

○働く女性の応援・子育て支援事業の実施【重点】

○例会、研修会、視察会等の実施

○関連団体との連携強化

(3) 福山商工会議所青年部活動

○地域活性化事業（福山城あかりまつり）の実施【重点・再掲】

○若手起業家育成事業ジュニアエコノミーカレッジの実施【重点】

○例会、研修会、視察会等の実施

○多地域Y E Gとの交流の促進

○関連団体との連携強化

(4) 会員サービス事業

①会議所活動の理解と周知、会員間相互の交流促進、コロナ禍の中、時機にあったテーマ選定を行い、新たなビジネスチャンスの創出並びに販路拡大に資する会員交流会の充実を図っていく。

○会員交流会の充実【重点】

②会員事業所の福利厚生充実並びに当所の財政基盤の強化に資するため、当所独自の「福の山共済」の加入促進を図る。また、会員事業所の経営管理上のリスク対策の一環として、事業承継、相続、自社株対策などについて、専門家を招聘してのセミナー「共済フォーラム」を実施する。

○生命共済制度「福の山共済」の加入推進及び「共済フォーラム」の実施【重点】

○特定退職金共済制度の加入推進

○広島県中小企業共済協同組合の各種共済制度の加入推進

(火災共済・労災費用共済・経営者支援共済・自動車事故費用共済・シニア共済等)

○共済加入者サンクス事業の実施

- ③コロナウイルス感染者発生による休業は、事業継続に大きな影響を及ぼす。会員事業所向けに、割安な掛金でコロナ感染時の店舗消毒や営業休止に伴う収入源、テレワーク中の個人情報流出、風水害による事務所被害など、事業活動を行ううえでの様々な賠償責任や事業休業リスクを補償する日本商工会議所の団体保険制度の加入促進を図り、企業の事業存続を支援する。

○企業防衛に役立つ団体保険制度の推進【重点】

(業務災害補償プラン・ビジネス総合保険制度・情報漏えい賠償責任保険制度・休業補償プラン・中小企業海外PL保険制度・海外危機対策プラン等)

- ④創業周年に該当する会員事業所及び会員である事業所に永年勤続し、功績顕著な従業員等の表彰を行う。また、創業・開業月に送付する会員之章により、事業継続のモチベーションの向上及び当所事業のPRに繋げる。

○創業永年会員・優良従業員表彰事業の開催【重点】

○創業・開業周年会員之章カードの発行

- ⑤会報誌「商工ふくやま」や記者会見の場を活用し、「福山市新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン～職場編～」のeラーニング受講の周知・勸奨、行政等による新型コロナウイルス関連情報、さらには会員事業所の新商品や新サービス等の情報発信の支援を積極的に推進していく。さらに、啓文社ポートプラザ店にて「商工ふくやま」を販売し、未加入事業所等にも広く会議所活動を広報することで会員獲得に繋げていく。

会報誌に加え、ホームページ、FCC I ライナー、エフエムふくやま放送番組「ハロー！商工会議所」など、あらゆる広報媒体を駆使し、会員事業所の役に立つ情報提供の充実に努めていく。

○会員事業所向け広報活動の推進【重点】

- ・会報誌「商工ふくやま」の発行
- ・記者会見の開催
- ・エフエムふくやま放送番組「ハロー！商工会議所」
- ・福山商工会議所ホームページ
- ・メールマガジン（FCC I ライナー）

・ F a c e b o o k

○「福山市新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン～職場編～」のeラーニング受講の周知・勧奨【重点・再掲】

⑥その他会員サービスに繋がる事業の実施

- ザ・ビジネスモールの利用促進
- 会員限定Webセミナーの実施

(5) 事務局運営

○スマートCCIの構築【新規・再掲】

- 職員資質の向上
- 諸規程の整備
- 情報セキュリティ対策の推進
- テナント誘致活動の実施
- 貸会議室の利用促進
- 会費等の口座振替納入制度の推進
- 所内コンプライアンス体制の推進
- 勤怠管理の実施